

校長室から



ただいま

2020. 4. 7

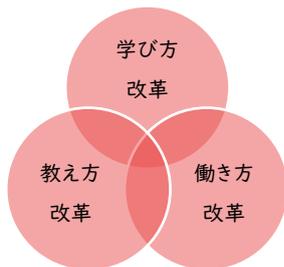
宮山敬子（みややまのりこ）と申します。
どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに

水戸特別支援学校に勤務するのは3回目となります。現中学3年生とは東京方面に修学旅行にも行きました。楽しい思い出がいっぱいです。久しぶりに会ったみんなは大人びていてびっくり！3月までは大子特別支援学校の校長をしており、同じ学校から本校に来た児童生徒もいますのでとてもうれしく思っています。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

3つの改革と 3つの「ちょう」の話

この4月から、小学部で新学習指導要領が本格実施となります。それに伴い3つの改革に取り組んでまいります。ご理解ご協力をお願いいたします。詳しくは後日ホームページに掲載するランドデザインをご覧ください。



始業式において3つの「ちょう」の話をしました。

超

超える：自信をもって前に進みましょう

挑

挑む：やりたいことに挑戦しましょう

蝶

夢に向かって大きく羽ばたきましょう

令和の時代になって初めての 1学期始業式と入学式・・・そして変わらないもの

令和の時代になって初めての1学期始業式と入学式は、新型コロナウイルス感染症対策により縮小したかたちでの開催となりましたが、小学部児童数84名、中学部生徒数49名、高等部生徒数47名の総勢180名の児童生徒でスタートしました。

これまでに体験したことのないような様々な状況が日々刻々と変化する先の見えない中ではございますが、我々教職員の心の支えとなり全く変わらないものがあります。それは、保護者の皆様、地域の皆様とともに、**子どもたちの可能性を信じ続けること**、そして子どもたちの幸せな未来を心から願っていることです。

私たちが暮らす現在の日本は、成熟した共生社会の形成に向けては、まだまだ道半ばです。どの時代においても、子どもたちは、進むべき道を私たちに示してくれる、一人一人がかけがえない尊い存在です。そんな子どもたちと、一緒に過ごせることは私たちにとって大きな喜びです。幸い、教育におけるテクノロジーの進化は目を見張るものがあります。それを駆使することで、可能性がさらに広がる多くの事例によって示されています。今年1月に行った「視線入力装置の研修及び体験会」は、まさにその一例といえるでしょう。

今私たち教職員は、最新の情報を捉え、可能性を信じ挑戦することが何より大切だと考えています。また、何に困っているのか、何を求めているのかなど、子どもたちの声を社会に届けることも大きな使命だと思っています。

これからも、状況は変化していくと思いますが、ピンチをチャンスと捉え、安全で安心な学校づくりをベースに、学び方改革・教える方改革や働き方改革に取り組み、様々な形での社会貢献活動や情報発信に努めてまいります。

臨時休業のその先にある楽しい学校生活再開を願って・・・。

<4/8～5/6の臨時休業について>

学校を再開し、やっと子どもたちに逢えたところですが、昨日（4/6）県立特別支援学校が明日より臨時休業になることが決まりました。日々刻々と状況が変わる中ではありますが、この困難な状況を乗り越えるため、何卒、ご理解ご協力をお願いいたします。

